

在宅人工呼吸療法中の患者さんにおける 災害への備えについてのアンケート調査

愛知県心身障害者コロニー中央病院 在宅医療・NICU 後方病床検討委員会
丸山幸一 棚橋規香

阪神大震災や東日本大震災などの大地震や、近年頻発するゲリラ豪雨による洪水など、災害はいつ起きても不思議ではありません。災害時は誰もが被災者です。まず自らの安全確保と避難が優先であり、その後衣食住などの生活確保、安否確認、被害状況の確認と対策へと進みます。

しかし、在宅人工呼吸療法中の患者さんとそのご家族には様々な困難があります。東日本大震災の際には、医療機器を稼働させるための電源確保、医薬品の供給、おむつなど患者さんに適した各種ケア物品の確保、病院など避難先への移動手段など、様々な問題が表面化しました。そして、これらの問題への対策は行政も医療機関も決して十分とは言えません。

そこで、病院としてどのような対策が必要であるかを検討するために、在宅人工呼吸療法中の患者さんとそのご家族を対象として災害についての備えや考えについてアンケート調査を行いました。

【対象と方法】

対象は平成 28 年 1 月から 3 月の間に愛知県心身障害者コロニー中央病院（以下当院）を外来受診またはレスパイト入院として利用した在宅人工呼吸療法中の患者さんおよびご家族です（筋ジストロフィーなど知的障害のない患者さんも含まれますので、対象者全員が重症心身障害というわけではありません）。来院の際にご家族へアンケート用紙を配布し、現在の具体的な災害対策や心配な点について記入をお願いしました。その際、アンケートへの協力は患者・家族の自由意志に基づくものであり、不参加の場合でも診療上の不利益を被らないことを説明しました。アンケートは次回の受診ないし入院の際に用紙を回収し、不参加の場合でも白紙のまま提出するように依頼しました。回答用紙は中央病院外来在宅看護相談室および在宅医療地域医療連携推進委員会で集計しました。なお、本研究は当院倫理審査委員会の承認を得ています（平成 27 年度第 12 号）。

【結果】

78 家族に用紙を配布し、51 家族より回答を得ました（回収率 65%）。

A. 患者背景

1. 年齢 (図 1) : 1~53 歳 (中央値 17 歳、平均 19 歳)

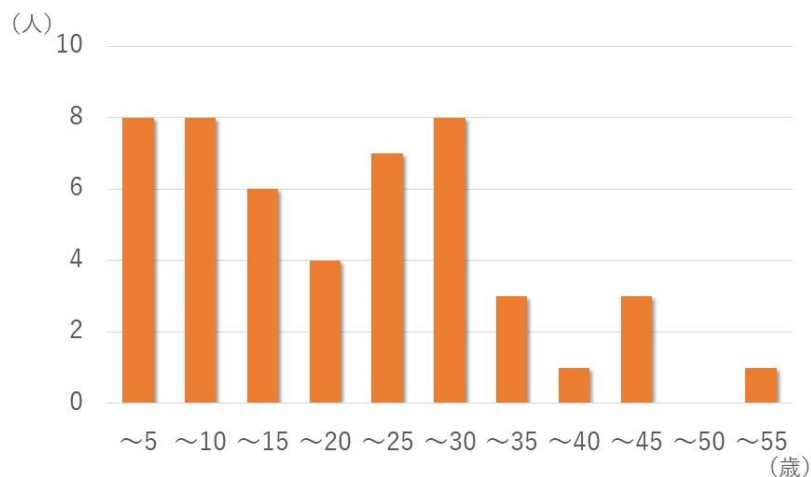


図 1 患者さんの年齢分布

2. 性別

男性 33、女性 17、無回答 1

3. 居住地

春日井市内 8
春日井市外の愛知県内 33 (尾張地区 17、名古屋市 10、三河地区 6)
愛知県外 9
無回答 1

4. 自宅から当院までの距離 (回答 32) (図 2)

5~110km (中央値 31km、平均 35km)

5. 自動車での所要時間 (回答 48) (図 2)

1~120分 (中央値 43分、平均 48分)

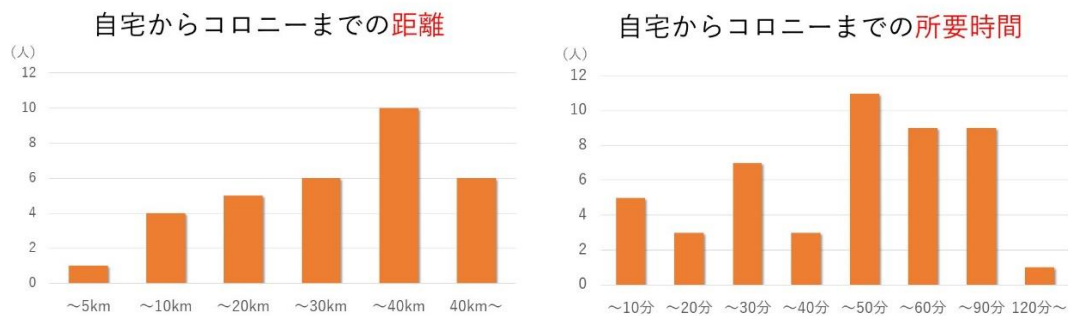


図 2 自宅からコロニーまでの距離および所要時間

6. 介護状況

移動：全介助 44、一部介助 0、自立 6、無回答 1

食事：全介助 44、一部介助 0、自立 6、無回答 1

更衣：全介助 44、一部介助 2、自立 4、無回答 1

7. 意思伝達方法

口頭 12

その他の方法 3 (手で選択、文字盤、声のトーン、表情)

不可 33

無回答 3

8. 人工呼吸器の使用状況

① 装着時間：終日 28、夜間のみ 23

② 呼吸器の種類：気管切開 36、鼻マスク 14、無回答 1

③ 酸素併用：常時 12、必要時 23、なし 15、無回答 1

④ 吸引：頻回使用 44、必要時使用 3、なし 3、無回答 1

⑤ 排痰補助装置：あり 18、なし 31、無回答 2

B. 災害に対する知識について

1. 今まで災害を経験したことや、身近に危険を感じたことはありますか (複数回答可)。

全くない 29

地震 15

豪雨 9

河川の氾濫 6

火災 2

落雷 2

土砂崩れ 1

豪雪 1

高潮 0

津波 0

その他 1 (台風による停電)

2. 自分が住んでいる地域に起こりやすい災害について知っていますか。

はい 36

いいえ 15

3. 自分の住んでいる地域の避難所を知っていますか。

はい 46

いいえ 5

4. 避難所までの経路を確認したことがありますか。

はい 27

いいえ 23

無回答 1

5. 災害時の病院（医院）の連絡先は、病院（医院）より説明されていますか。

説明されており、連絡先を理解している 4

説明されているが、連絡先がすぐにはわからない 4

説明されたが覚えていない 3

説明されていない 34

その他 6

（覚えていない 1、無回答 5）

C. 避難について

6. 災害時、まず、どこに避難しますか（複数回答あり）。

避難所 3

病院 15

自宅（建物の被害等がない場合） 36

その他 0

7. ①③④とお答えした方に伺います。いずれ病院への避難を希望しますか。

希望する 42

希望しない 1

無回答 8

7-2. どちらの病院への避難を希望しますか

かかりつけ医（コロニー） 29

かかりつけ医（コロニー以外） 8

（病院までの距離 1.5~8km、車での所要時間 5~35分）

かかりつけ以外の病院 6

（一番近い救急病院までの距離 1~10km、車での所要時間 10~30分）

無回答 9

7-3. かかりつけ医の受け入れが不可能な場合どうしますか。

自宅 13

避難所 3

8. 自家用車で避難できない場合どうしますか（複数回答可）。

自宅待機 17

自家用車 17

救急車 14

徒歩・車いす 11

タクシー・介護タクシー 3

公共交通機関	1
行政	1

D. 支援の連携について

9. 地域で行われている互助活動について知っていますか。

知っている	4
知らない	45
無回答	2

9-2. どのような活動ですか。

- 高齢者、障害者がいるかどうかなどのアンケートがあった
- 災害時要援護者に登録し、災害発生時に地域で助け合い避難する
- 障害者、高齢者の避難を近隣の人、民生委員が助ける活動
- 民生委員

10. 避難する時、隣近所の人に助けを依頼することが出来ますか。

できる	21
できない	26
無回答	4

11. 災害時に訪問看護師・ヘルパーへの相談、訪問依頼が可能ですか。

可能	18
不可能	23
未確認	4
無回答	7

11-2. どのように連絡をとりますか。

電話	19
災害伝言ダイヤル	1
徒歩	1

E. 家庭での対策について

12. 日頃から家庭内で行っている災害対策について、当てはまるものに○をつけてください（複数回答可）。

災害時の対策について話し合っている	9
避難場所を決めている	15
家族と連絡方法を決めている	5
災害時の役割分担を決めている	2
特に何もしていない	25
その他	0

無回答

5

13. 携帯電話が使用できない場合、どのように連絡をとりますか。

災害伝言ダイヤル	5
連絡メモ	4
避難所に行く	3
公衆電話	2
固定電話	2
コンビニなどの緊急電話	1
アマチュア無線	1
同居のヘルパーに依頼	1
近所の人に頼む	1

14. 主介助者はどなたですか。

母	45
父	8
兄弟	0
祖母	0
祖父	0
その他	1
無回答	3

15. 主介護者以外に、家族のなかで医療的ケアが出来る方に○をつけてください。

母	1
父	33
兄弟	9
祖母	10
祖父	2
その他	0
いない	9
無回答	4

F. 日常生活用品の備蓄について

16. 災害時の備蓄をどれくらいしていますか (図 2)。

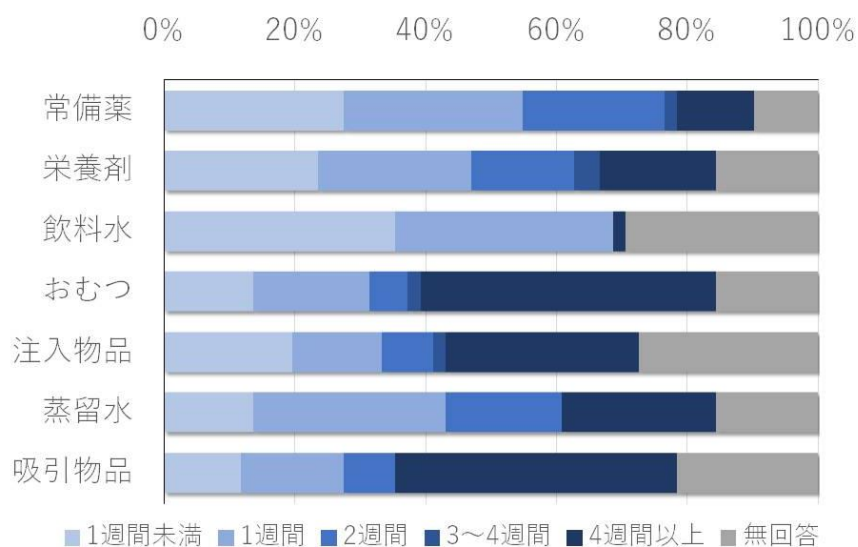


図2 災害に備えた備蓄

G. 停電対策について

17. 停電時、自宅で電気を確保することができますか。

- できる 19
- できない 30
- 無回答 2

17-2. どのようなものですか。

- 太陽光発電 6
- 電気自動車 3
- 自家発電機 2
- 蓄電池 5
- その他 6 (自動車 5、電力会社が発電機を持ってくる 1)

17-3. どれ位、使用できますか

- 2~10 時間
- ガソリンの続く限り
- 日照のある限り

18. 自宅以外で電気の供給を受けられる場所がありますか。

- はい 12
- いいえ 35
- 無回答 4

18-2. 供給可能な場所はどこですか。

- 病院 10
- 車 4

H. 自由記載

19. 災害について心配なことがありますか。

(主要な意見)

- 電源確保
- 移動経路（建物の倒壊、道路の損壊、危険地域）
- 移動手段（人手の確保、自動車）
- 食事や物品の入手
- 情報収集
- 避難所での生活（居場所、医療的ケア、障害者への対応、健常者との共存）
- 病院の受け入れ
- 介護者と患者と一緒にいなかった時の対応、連絡方法
- 介護者が被災した際の対応
- レスパイト中に災害が起きた時の病院の備え、マニュアル

20. 災害時に病院への要望はありますか。

(主要な意見)

- 病院で受け入れてほしい
- 連絡体制を整えてほしい
- 登録患者について災害場所あるいは自宅や避難場所へ病院からの安否確認
- 入院中災害が起きた時家族への安否連絡
- 宅品、物品など自宅備蓄が不足した場合、持ち出し出来なかった時の対応
- 電源確保できる商品などや災害時に便利、対応できる商品などの情報があればよい。
- 地域の病院で避難優先リストを使ってほしい（保証がほしい）
- 移送の確保
- 地域病院とコロニーとの連携

【謝辞】

本アンケートの結果は、ホームページ上で公表するとともに、今後災害対策を整えていくにあたっての基礎資料としてコロニー中央病院および運用部へ提出しました。

最後に、アンケート調査にご協力いただきました患者さんおよびご家族のみなさまに感謝いたします。

平成 29 年 6 月 9 日